

平成18年3月7日(火)に「とやま棚田ネットワーク委員会」が開催され、平成17年度の事業内容・平成18年度事業予定内容の報告、それらについての質疑が行われました。

§ 議 事 内 容 §

1. 報告事項

①平成17年度の事業内容（主な項目のみ）

- HP「とやま棚田ネットワーク」の更新
- やまだのかかしコンテストの開催
- 第2回「とやまの棚田写真展」の開催

②平成18年度の事業予定（主な項目のみ）

- HP「とやま棚田ネットワーク」の更新
- やまだのかかしコンテストの開催
- 第3回「とやまの棚田写真展」の開催（募集中）
- ネットワーク独自のイベント **NEW!**



2. 主な質疑内容

アンケート結果を基にネットワーク会員の個人情報に会員個人にも開示してはどうか

アンケート内容 会員の住所・氏名・電話番号・メールアドレスを委員へ公開しても良いか
結果 回収 170/521(約33%) Yes 109名 No 61名

個人情報の取り扱いは慎重にすべきであり、名簿の管理上困難と考えられる。

→賛同(Yesと回答)頂いた会員のみ限定して委員へ開示します(アンケート内容と同じ情報)

年間のイベント情報を春に提供してはどうか

会員へのお知らせの中に盛り込んでまいりたい。

→第1回お知らせに同封します

「やまだのかかし」で棚田写真教室を実施するなど複合的なイベントとしてはどうか

かかしのみのイベントではなく、複合的に開催できれば良いと考えられる。

→盛り込んでまいりたい。

ネットワーク独自のイベントは何が良いか

イベントへの参加が良く、上平の「赤かぶオーナー」に参加することといたしたい。

→別途会員へ参加のご案内をいたします

みんなで農作業の日 in 五箇山の実行委員として活躍されている「たいら農業公社」北原氏から寄稿いただきましたのでご紹介します。

「五箇山に来られ～」

財団法人たいら農業公社 事務局長 北原 俊一

日本全国に数多くの棚田が在り、それは農業生産の大事な場として活用されてきました。それが、農業後継者問題など農業環境の厳しさから生産の場から離れていく棚田が多くなり、更に自然崩壊されていく所も出てきました。各地域で生産の場として守り続けていく努力がなされているのが現状だと思います。



富山県も棚田の多い県だと思います。私の住む五箇山地方もその中の一箇所で、地名では平・上平と平地の様に思えますが、実際は急峻な山間の山村で、耕作地は段々田圃や畑 これぞ棚田の典型です。平家落人の伝説があり、加賀藩の流刑地と隠れ硝煙や和紙の生産地として知られ、また民謡など芸能文化も数多くあり、現在はユネスコの世界遺産に登録された合掌集落の里として、多くの人が観光に訪れる所でも在ります。

生活の糧のほとんどを生産し、長い歴史を見守り残してきた棚田も、他方と同様、生産されないところが多くなってきました。そこで、昨年度より南砺市の呼びかけにより、旧利賀村で行われていた『みんなで農作業の日』と『そばオーナー農園』を拡大して、旧五箇三村で耕作放棄地の再生と棚田の保全と都市交流を目的に、各地区で体験農業のオーナー事業が実施されました。平地区では『世界遺産・五箇山棚田オーナー事業』として、水稻を田植から稲刈り・はさ架けを体験。利賀地区では『そばオーナー農園事業』として、そばの播種から刈取りを体験。上平地区では『合掌の里・赤かぶオーナー事業』として、赤かぶの播種から採取を体験。それぞれの事業は農業公社が中心となって作業を進め、参加オーナー方々も良い農業体験が五箇山で出来たと喜ばれました。実行委員会では、昨年以上のオーナーの参加《申し込み》を期待して実案の検討にまい進中です。『棚田オーナー事業』は募集が始まっています。そば・赤かぶオーナー事業は7月・8月に実施予定です。皆様の参加を待っています。



お忙しい中にもかかわらず、寄稿いただきありがとうございました。

編集後記

これから田植えに関する多くのイベントが開催されます。春の陽気に誘われて、心地よい汗と充実感のある思い出をつくってみませんか～。

ご意見・ご要望はこちらまで

とやま棚田ネットワーク 事務局 (社) 富山県農林水産公社設計管理課

HP <http://taff.or.jp/tanada/tanada.htm> TEL076-441-7398 FAX076-444-3851

富山県農村環境課中山間地域振興班 TEL076-444-9011 FAX076-444-4427

HP <http://www.pref.toyama.jp/sections/1605/tanada/toppage/tanada~1.htm>